



クラスルームをはじめよう

iPadのためのクラスルームアプリケーション教師向けガイド

クラスルームの概要

クラスルームは、教師のみなさんが生徒の学びを導いたり、作業を共有したり、生徒たちのデバイスを管理するのに役立つ、パワフルな新しいiPadアプリケーションです。生徒がデバイスを共有している環境にも、1人1台の場合にも対応しています。教室のどのデバイス上でも、特定のアプリケーションやウェブサイト、テキストブックのページを開いたり、Apple TVを使って生徒の作業をテレビやモニター、プロジェクターで共有することができます。生徒のパスワードをリセットしたり、生徒がどのアプリケーションを使っているか確認したり、各クラスごとにShared iPadを生徒に割り当てることもできます。

このガイドでは、クラスルームの概要について説明します。このアプリケーションを使い始めるための手順、また、毎日の授業にどのように活用できるのかを紹介します。

はじめる前に

クラスルームはApp Storeからダウンロードすることができます。モバイルデバイス管理 (MDM) を使って簡単に設定できます。MDMで生徒、デバイス、教室の関係を構成します。クラスルームの構成と設定については、所属する教育機関のテクノロジー担当者にご相談ください。

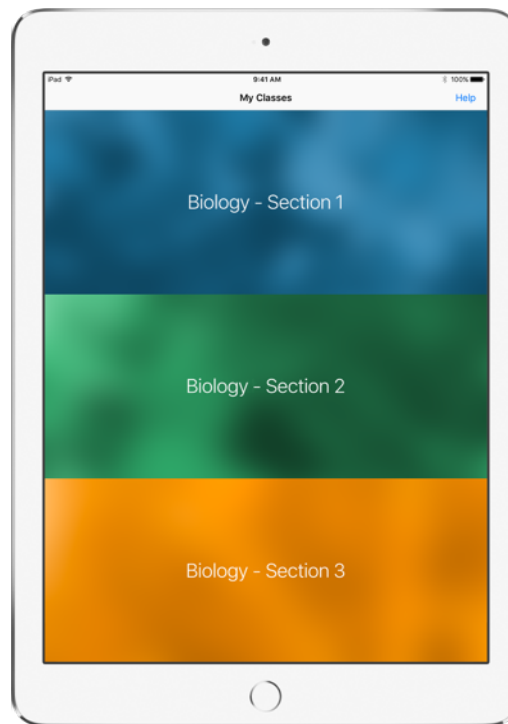


授業をはじめる

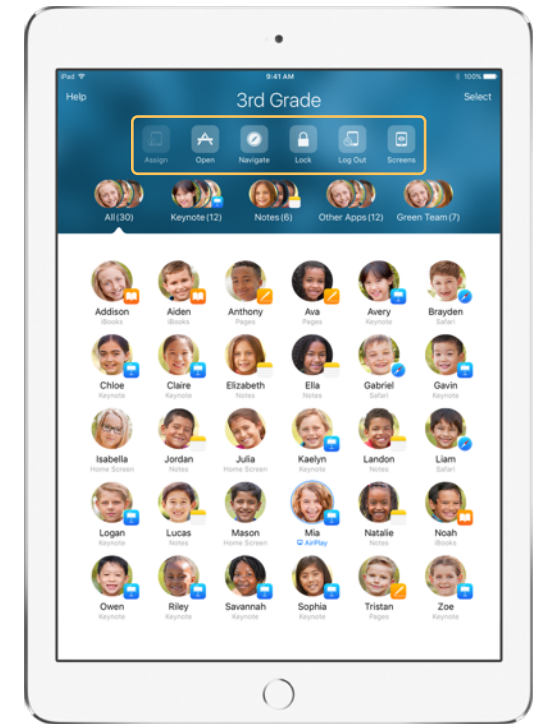
クラスルームには、生徒一人ひとりのiPadを管理するための様々なツールが用意されています。授業の中で、生徒たちのiPadで何をするかを指定することができます。同じウェブページを開く、アプリケーションを開く、リモートで画面を表示して進み具合をチェックするなどの操作などです。



IT部署でiPadへのアプリケーションの導入と構成が完了したら、クラスルームを起動して使い始めましょう。



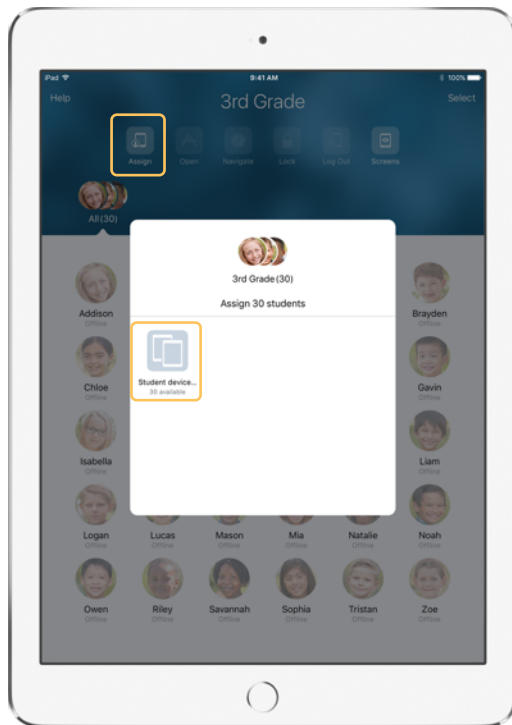
担当するクラスが複数ある場合でも、クラスルームアプリケーションではクラスを簡単に切り替えることができます。クラスの設定は、所属する学校のMDMで行います。



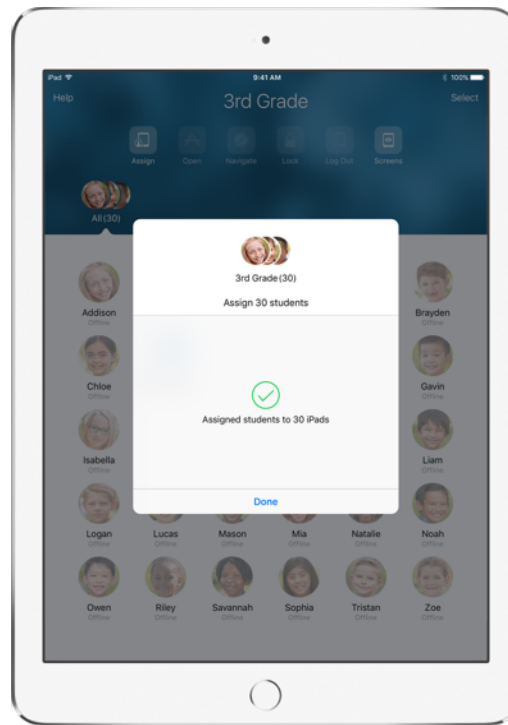
アプリケーションにはアクションの一覧と生徒の一覧が表示されます。アクションの一覧には教師のデバイスからクラスに対してどのようなことが実行できるのかが表示されています。

生徒にiPadを割り当てる

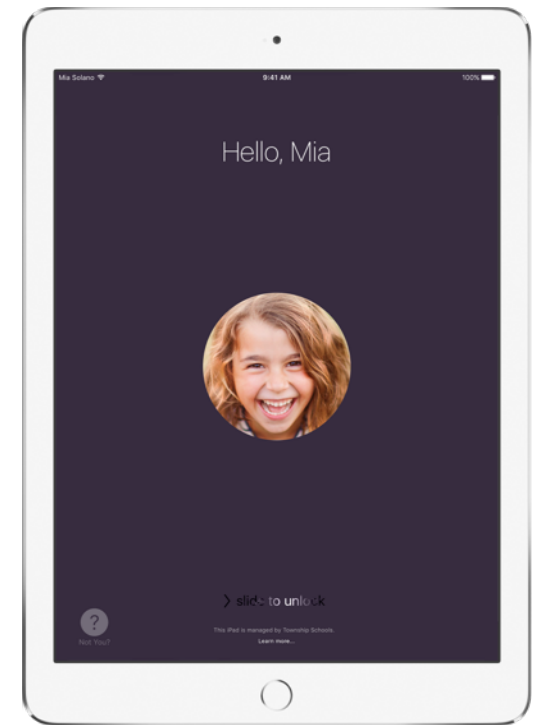
クラスルームとShared iPadを使えば、iPadを各生徒に割り当てることができます。クラスルームは、前回どのiPadがどの生徒に割り当てられていたかを識別するので、前と同じデバイスを生徒に割り当てるができます。データをダウンロードする必要がないのですぐに授業を始めることができ、生徒の使い勝手がぐっと良くなります。



「割り当てる」をタップして使用可能なデバイスを選択します。



これで選択したデバイスが割り当てられます。



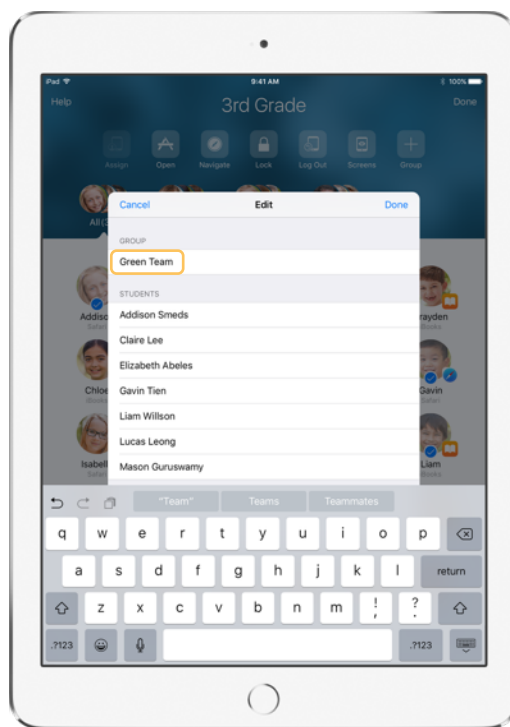
各デバイスに生徒のPhoto IDまたはイニシャルが表示されるので、生徒は簡単に自分のデバイスにログインできます。

クラスをグループに分ける

クラスルームではクラス内で複数のグループを作ることができるので、生徒一人ひとり、グループ単位、クラス全体など、目的に合わせた教え方が可能です。課題に合わせて生徒をグループに分け、グループごとに別のことを教えることができます。



同一グループに入れる生徒を選択し、アクションの一覧で「グループ」をタップします。



課題やレベル、その他のカテゴリなどに応じてグループに名前を付けることができます。



作成したグループがグループの一覧に表示されます。クラスルームでは、生徒が使用しているアプリケーションに応じて、自動的にグループを作成することもできます。

アプリケーションの起動とロック

すべての生徒のiPad上で、特定のアプリケーションを同時に起動します。生徒が目目の前の課題やテストに集中できるように、iPad上で一つのアプリケーションだけが表示されるようロックすることもできます。

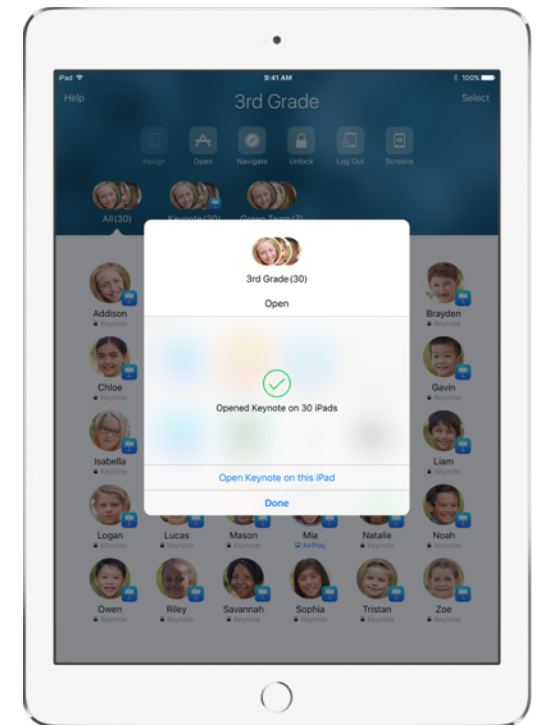


「開く」をタップしてアプリケーションの一覧を表示し、開きたいアプリケーションを選択します。

この機能を使うには、教師と生徒両方のデバイスにそのアプリケーションがインストールされている必要があります。



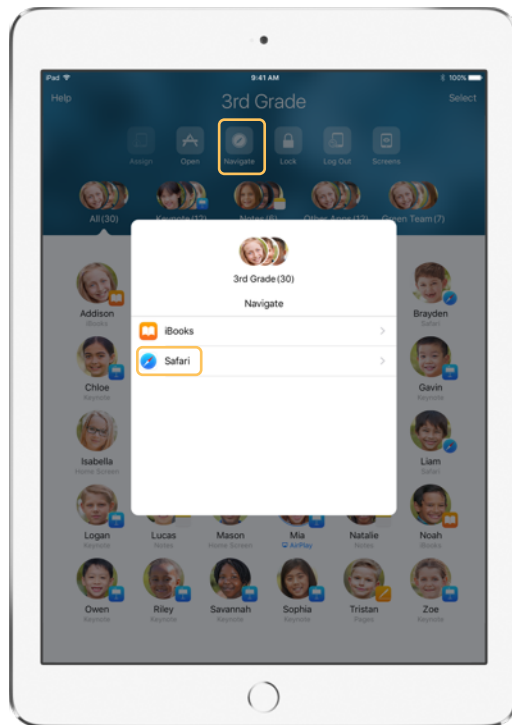
生徒のデバイスのアプリケーションをロックするには、右下にある「開いた後にApp内でロック」を選択します。



すべての生徒のiPadでアプリケーションが開きます。

特定のコンテンツにナビゲートする

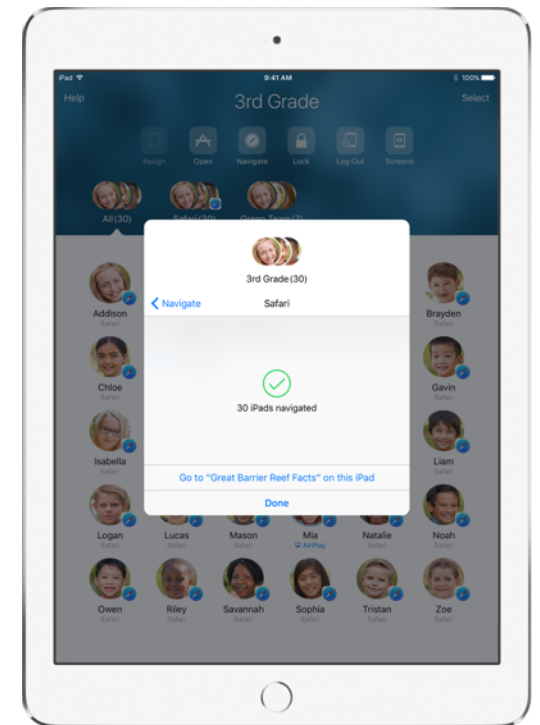
クラスルームでは、生徒の画面を、SafariでブックマークしたウェブページやiBooks内のチャプタなど、指定した教材に誘導することができます。



「ナビゲート」をタップして、オプションの一覧からSafariを選択します。



クラス全体に表示させたいページのブックマークを選択します。



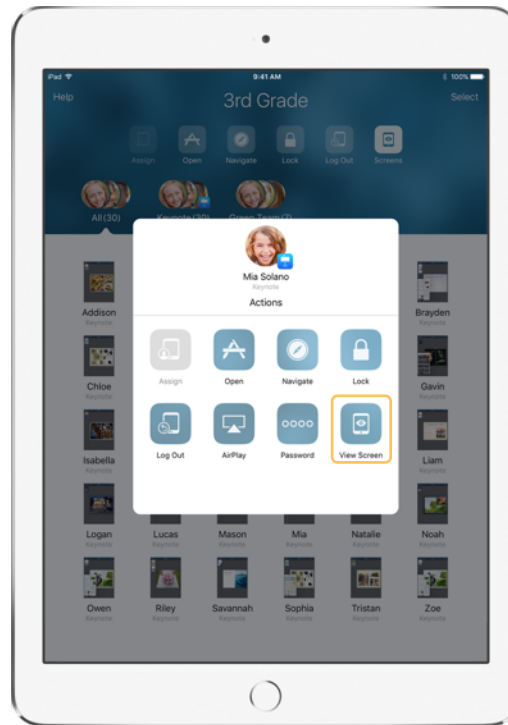
クラス全員の画面がSafariでブックマークしたページに移動します。

Screen Viewで生徒の画面を見る

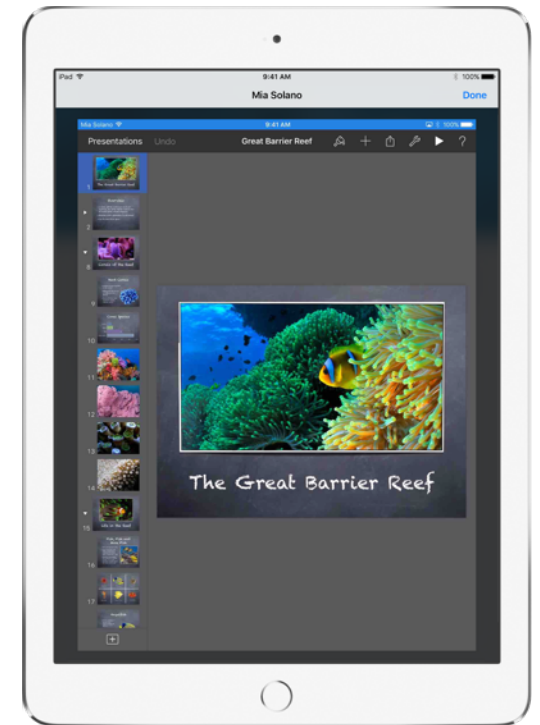
教師のデバイスに生徒の画面を直接表示して、課題やテストの最中に、生徒たちの進み具合をチェックすることができます。



「画面」をタップして、それぞれの生徒の画面を表示します。
この機能は生徒の近くにいる時に使用でき、必要に応じて無効にすることもできます。



特定の生徒の画面を表示するには、その生徒を選択して
「画面を表示」をタップします。



生徒のデバイスのステータスバーが青に変わり、教師が
画面を見ていることがわかります。

生徒の作業を大画面で共有する

教室にApple TVがある場合は、生徒の画面をテレビのモニターやプロジェクターに映し出すことができます。生徒の作品をクラスに紹介したり、協働学習を促したり、クラス全員で一つのことをやる場合にも効果的な方法です。

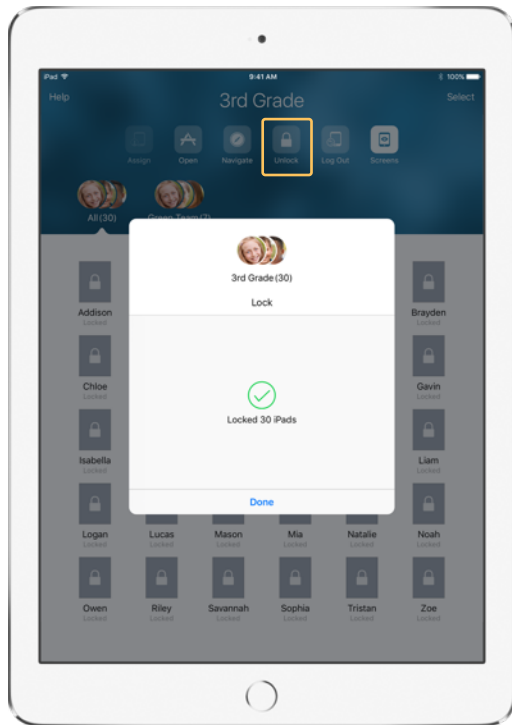


アクションの一覧から「AirPlay」を選択し、Apple TVを使って生徒の画面を映します。次に、一覧から適切なApple TVを選択します。

選択したApple TVに生徒の画面が表示されます。

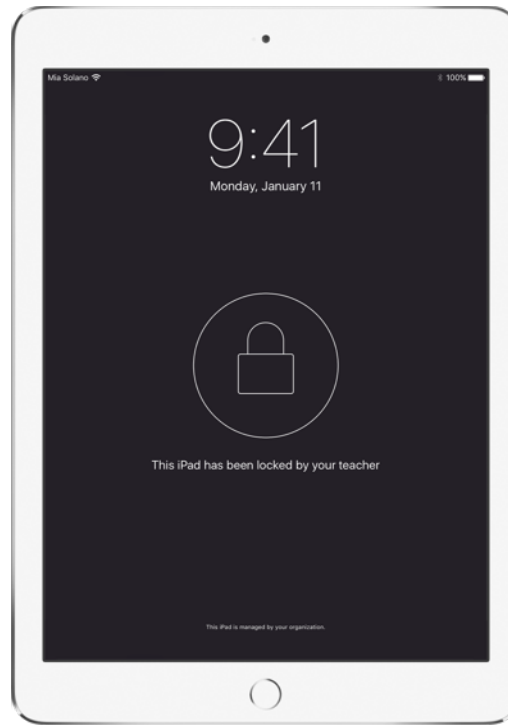
画面をロックする

大事なことを話すときなど、生徒の注目をこちらに向けたい場合には各iPadをロックすることもできます。



生徒個人やグループ、またはクラス全体を選択して「ロック」をタップし、デバイスをロックします。

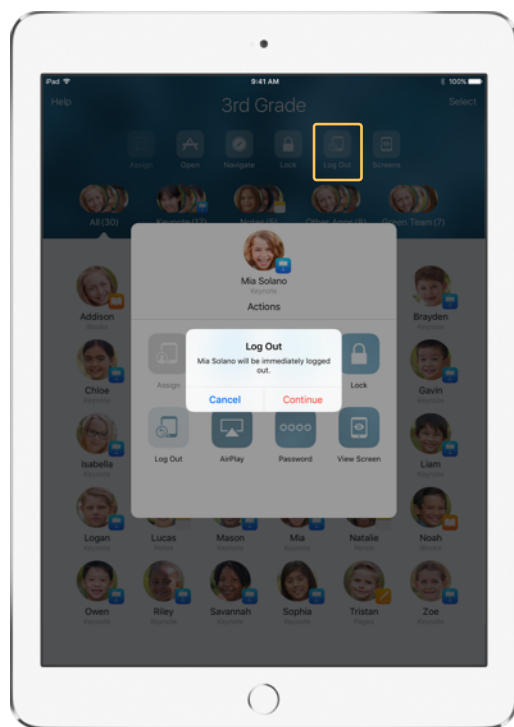
デバイスのロックを解除するには「ロックを解除」をタップします。



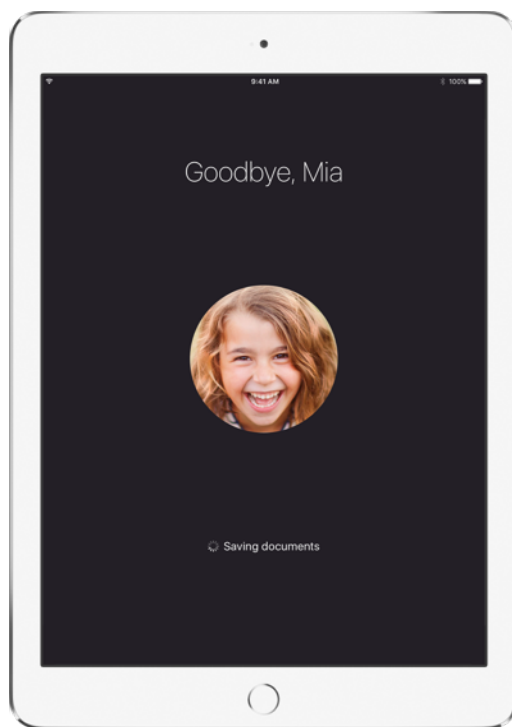
画面がロックされ、生徒はロックが解除されるまでデバイスを操作できなくなります。

デバイスからログアウトする

授業が終わったら、教師のデバイスから生徒個人、グループ、またはクラス全体をログアウトすることができます。生徒がログアウトすると作業中の書類はクラウドに同期され、次回ログインした時に作業を再開できます。



生徒個人、グループ、またはクラス全体を選択して「ログアウト」をタップします。



生徒は自分のデバイスから、書類がクラウドに保存されていることを確認できます。



© 2016 Apple Inc. All rights reserved.

Apple、Appleのロゴ、AirPlay、Apple TV、iBooks、iPad、Keynote、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
本書に記載のその他の商品名、社名は、各社の商標または登録商標である場合があります。